



木材梱包事業・木造住宅事業を柱としつつ、調達力・加工力・設計力を活かし、木工品製造や施設の内装木質化に注力。



多様な木工品の試作をスピーディーに実現するNC加工機

どんな事業をされていますか？

当社は、大正2年(1913年)に川口材木店として創業し、富士山麓の国有林の伐採および建築用木材の製材・販売業を開始した。その後、田子の浦港に輸入される米松・米樺の製材と原木の販売に移行する中で、製紙工場等の要望により木材梱包材の製造を開始した。事業拡大に伴い、昭和16年(1941年)に現社名で法人化し、100年を超える社歴の中で事業の多角化を推し進めてきた。

現在は、木製パレットや木箱を製造する「木材梱包事業」、富士ひのきの県産材を使った住宅の設計・施工をする「木造住宅事業」、ダンボール箱や梱包資材を製造する「紙器事業」、物流拠点の役割を担う「倉庫事業」の4つの事業を展開している。各事業が互いに結びつき相乗効果を発揮しつつ、グループ丸となって新しい可能性を追い続けている。



富士ひのきのサウナチェア



回転式カップホルダー



リモートワークボックス



特注のロール横置型パレット

事業の特長や強みは何ですか？

木材を事業の中心としてきたことから、木材梱包事業と木造住宅事業を2本柱と考えている。木材梱包事業で製造するパレットは、一般的な規格の量産品ではなく、お客様の要望に応えるオーダーメイドが大半を占める。多種多様な材料が必要となるが、必要な寸法に加工された材料等を仕入れることにより自社の加工工程を減らすことで、調達コストを抑えている。また、他社にはない加工機を保有しており、特殊な加工についても柔軟に対応することができる。

一方、木造住宅事業は「フジモクの家」というブランドで、富士ひのきの県産材を使って新築や改築、リフォームを行っている。20年前に富士ひのきの伐採時期を迎えたことが、地元材を使った家づくりへの契機となった。地元材を使うことで、運送距離が短くなりCO2排出量が抑えられるとともに森林資源の循環を促すことができ、環境にやさしい住まいとしてPRしている。

代表的な製品、サービス、設備などは？

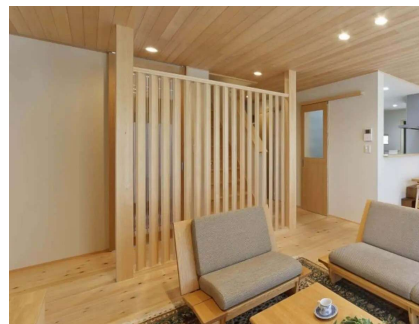
近年お客様の要望により始めた木工品製造(家具・什器・小物)の事業化を目指し、NC加工機を導入した。以前は試作品を手作業で製作したり、外注に依頼していたが、導入によって短時間で試作品が製造できるようになり、依頼に即応するとともに納期の短縮化につながった。また、加工の高度化により対応できるアイテムが広がり、販売実績も増加している。

包装設計室によるCADデータを用いた設計スキル、若手社員のデザインセンス、木材事業で培われた営業力や調達力等、各部門が力を合わせ、サウナチェアや回転式カップホルダー、リモートワークボックスなど、多種多様な木工品をお客様の要望に合わせてプロデュースしている。

今後の展望をお聞かせください。

木工品については、ネットを活用した商談やビジネスマッチング等の新たな営業手法を活用し、販路を拡大していく。今後、量産が見込まれるようになれば、新たな加工機の導入を考えていきたい。木工品製造に関する相談は無料なので、欲しい木製品のアイデアがあれば気軽に問い合わせいただきたい。

また、木工品の販売をきっかけに、これまで取引がなかった新しい顧客が獲得できているため、施設の内装木質化を提案し、受注に繋げていきたい。



富士ひのきの無垢の床と自然素材を使った住まい



木材をベースとした事業拡大の熱意を語る
川口祐介 代表取締役(左)
山本俊享 執行役員(右)

取材日：令和7年10月21日

富士宮木材協同組合 富士木材株式会社

代表取締役社長 川口祐介
静岡県富士市大淵3800-8
TEL. 0545-36-1188 FAX. 0545-36-0170

Mail : order@ipac-fujimoku.co.jp

創業：1913年 会社設立：1941年3月

事業内容：木材梱包事業、木造住宅事業、紙器事業、倉庫事業

従業員数：100人

年間売上高：32億円(2024年度)

許可等：建設業許可(静岡県知事 般2-第20150号)、
一級建築士事務所(静岡県知事(6)第
5652号)、宅地建物取引業(静岡県知事
(12)第4158号)

URL : <https://www.ipac-fujimoku.co.jp/fjmkw/>



カウンターや打合せコーナーの木質化(自社内)

発行：静岡県木材協同組合連合会